

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
【発行日】平成 27 年 7 月 23 日 (2015.7.23)

【公開番号】特開 2014-49600 (P2014-49600A)  
【公開日】平成 26 年 3 月 17 日 (2014.3.17)  
【年通号数】公開・登録公報 2014-014  
【出願番号】特願 2012-191162 (P2012-191162)  
【国際特許分類】

H 0 1 G 4/33 (2006.01)

【F I】

H 0 1 G 4/06 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 4 日 (2015.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の面と、前記第 1 の面と反対側の第 2 の面を備える誘電体層と、  
前記第 1 の面と前記第 2 面に連通し、内壁に段差を有する第 1 の貫通孔と、  
前記第 1 の面と前記第 2 面に連通する第 2 の貫通孔と、  
前記第 1 の面に形成された第 1 の外部電極層と、  
前記第 2 の面に形成された第 2 の外部電極層と、  
前記第 1 の貫通孔内に形成され、前記第 1 の外部電極層に接続し前記第 2 の外部電極層  
と離間する第 1 の内部電極と、  
前記第 2 の貫通孔内に形成され、前記第 2 の外部電極層に接続し前記第 1 の外部電極層  
と離間する第 2 の内部電極と  
を具備するコンデンサ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のコンデンサであって、  
前記第 2 の貫通孔は、内壁に段差を有する  
コンデンサ。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のコンデンサであって、  
前記第 1 の貫通孔は、内壁に 2 段階の段差を有し、  
前記第 2 の貫通孔は、内壁に 2 段階の段差を有する  
コンデンサ。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のコンデンサであって、  
前記誘電体層は、陽極酸化作用によって貫通孔を生じる材料からなる  
コンデンサ。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のコンデンサであって、  
前記誘電体層は、酸化アルミニウムからなる  
コンデンサ。